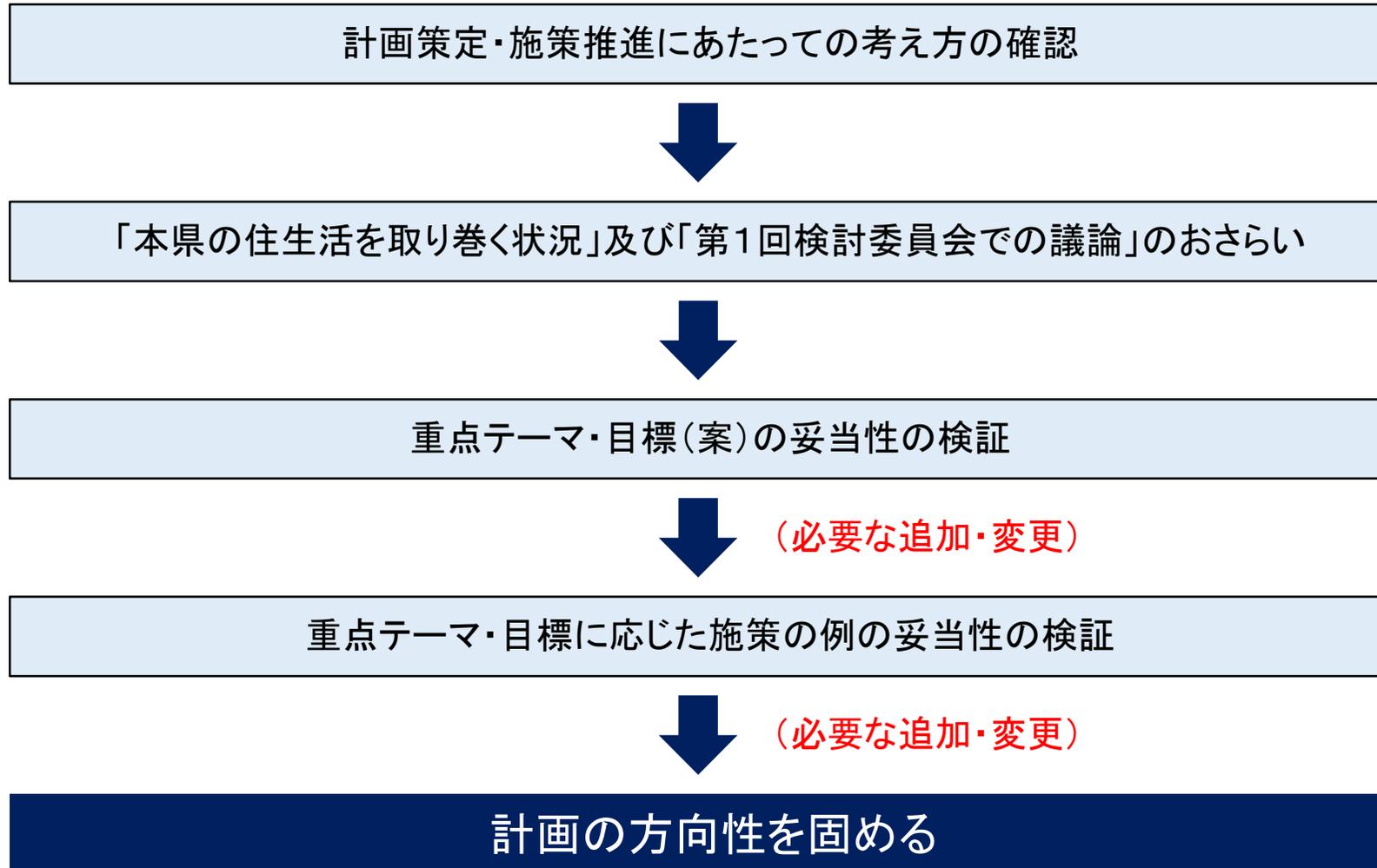


# 第4次徳島県住生活基本計画の方向性(案)について

資料2

## 議論の流れについて



## 第4次住生活基本計画の策定・施策推進にあたっての考え方(案)について

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、社会情勢が大きく変化している中、住宅施策について、これまで以上に、県民にわかりやすく方向性を提示し、協力を求めていくため、国や市町村、民間団体等との連携や役割分担も踏まえた上で、「県として重点的に取り組む施策」を明確に打ち出し、きめ細やかなPDCAサイクルにより、施策を推進していく。
- また、現場に近い市町村との間で、これまでよりも密な連携体制を構築するとともに、市町村における総合的かつ計画的な住宅施策の実施を支援する。
- さらに、ターゲットとなる県民や事業者に、施策をしっかりと活用してもらえよう、施策の周知・広報においては、「5W1H」について施策の訴求力を高める工夫を凝らす。

## 徳島県の住生活を取り巻く状況(主なもの)

【文頭】 ○第1回会議資料 ●今回追加資料

【文末】 ●(×) 特に関係する重点テーマ・目標(案)

## 【人口・世帯の状況】

- 人口減少・少子高齢化が進行する中、世帯当たり世帯人員は減少し、特に**単独世帯が増加**している。③(2)

## 【住宅ストック等の状況】

- **住宅数の増加**が、世帯数の増加を上回るペースで続いている。②(1)
- 空き家数が増加する中、特に市部では「その他の空き家」よりも**「賃貸・売却用の空き家」の増加が顕著**。②(1)

## 【居住水準の状況】

- 「最低」「誘導」の各居住面積水準の達成状況については、過去5年で**大きな変化は見られない**。③(2)
- 公園や医療機関等の**公共公益施設に近い場所で住んでいる割合が増加**している。③(2)

## 【住生活に関する意識等の状況】

- 住む前はあまり重視していない「省エネ」「いたみ」等が、**住み始めてから大きな不満**となっている。②(1) ②(2)
- 高齢者世帯は、全世帯の傾向と比べ、**「安全性」や「高齢者への配慮」等をより重視**している。③(1) ③(2)

## 【住宅セーフティネットの状況】

- 県営住宅入居世帯に占める「高齢者世帯」「ひとり親世帯」等の割合は、**県内全体と比べ高くなっている**。③(2)
- 市町村営住宅を中心に**老朽化が進んでおり**、また、**地域ごとに需給状況が大きく異なっている**。③(2)
- 平均寿命と健康寿命に差があり、**介護もしやすい仕様の住宅**が求められている。③(2)
- 徳島県は共働き世帯の割合も高く、**見守り等の利便性向上に対するニーズが高い可能性**がある。③(2)

## 【住宅産業の状況】

- 既存住宅の流通は一定進んでいるが、**リフォーム実施については実施率の伸びが鈍化**している。②(1)

## 【新型コロナ影響下での生活意識・行動の変化(全国:参考資料2)】

- テレワークの経験者が増え、また、**地方移住への関心も高まっている**。(P4~、P32~) ①(1)
- 約3割の方が**「暮らしのデジタル化」が進んでいると感じている**。(P56) ①(2)

## 第1回委員会でいただいた御意見(主なもの)

●(×) 特に関係する重点テーマ・目標(案)

## 【徳島県の住生活を取り巻く状況】

- 大きいのは単独世帯が増えていることであり、もう少しケアをいう視点も考えていかないと、「孤独死」等の問題が今後深刻になっていくおそれがある。③(2) ①(2)
- 特に、施策的にフォローしなければいけない高齢者については、細かく見ていった方が良い。③(2)

## 【「とくしま住生活未来創造計画」の進捗状況】

- 耐震化は、地震時に住宅が倒壊を免れて住人の命を守り、避難する時間を稼ぐことが目的であるのに、住宅が全く壊れないようになると誤解している人が多いので、趣旨を説明をしっかりとしてほしい。③(1)
- 補助制度は、一般の消費者にしっかりと伝わらないと利用されないのので、市町村の意見も聞きながら、どういうアプローチが良いのか考えながら進めてほしい。全体
- 子育て世帯について、どういう住環境がより適切なのか、徳島県なりのライフスタイルとして検討する必要があるかもしれない。①(1) ①(2) ③(2)
- 中古物件やリフォームへの理解が進むよう、情報発信の工夫も必要かもしれない。①(1) ②(1)
- 県が「住まいのガイドブック」を作るのであれば、新築や中古・リフォームなどの選択肢をまず説明して、可能なら、ライフステージごとに必要となる住宅の姿を示してほしい。①(1) ②(1)
- 大工の育成については、将来的な住宅需要も見据えながら、ミスリードしないように注意してもらいたい。②(2)

## 【第4次徳島県住生活基本計画の策定に向けた課題】

- 県産木材の利用促進のために、公共施設の木質化を推進してほしい。②(2) ①(2)
- 他県では、民間住宅への補助により木造化が進み、景観にも良くフィットした住宅が増えた事例もある。②(2)

## 第4次住生活基本計画の重点テーマ・目標(案)について

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、社会情勢が大きく変化している中、  
**今後10年間で重点的に取り組む「テーマ」及び「目標」**について次のとおり設定したい。

重点テーマ		目標：10年後の姿	(SDGs)
①	「新たな日常」への対応 ・リビングシフト ・デジタル・トランスフォーメーション 等	(1) 県民が、「時間や空間にとらわれない」住生活を実現する。	
		(2) 県民が、「新たな技術で“アタリマエ”を変えていく」住生活を実現する。	
②	「グリーン社会の実現」への貢献 ・既存ストック活用 ・木材利用 等	(1) 県民が、「建物と長く寄り添う」住生活を実現する。	
		(2) 県民が、「環境にやさしい建物を選べる」住生活を実現する。	
③	「住まいのレジリエンス」の確保 ・事前復興 ・住宅セーフティネット構築 等	(1) 県民が、「災害で命を失わない」住生活を実現する。	
		(2) 県民が、「いつ何時も安心して暮らし続けられる」住生活を実現する。	

## 重点テーマ・目標(案)に応じた施策の例

施策(例)	例示した施策の概要	テーマ・目標との対応						主たる 施策対象		
		①		②		③		県民	事業者	行政等
		(1) 	(2) 	(1) 	(2) 	(1) 	(2) 			
県民の「住みこなし力」の強化	ライフステージに応じた改修の促進や、改修しやすい住宅の普及等を通じて、DIYも織り交ぜながら、「住まいに手を入れながら生活する」ことの普及を図る。	○		○				○		
既存ストックを有効活用した「リノベーション型のまちづくり」の推進	「リタイアインフラ」である空き家・空き建築物を、観光や移住交流の拠点として有効活用し、省資源で場所性の継承にも資する「リノベーション型のまちづくり」を推進する。	○		○				○	○	
革新的な「デジタル技術」の住生活分野での普及	IoTによるリモート技術等を活用した「住まいのスマート化」をはじめ、住生活分野における革新的な「デジタル技術」の普及を図る。	○	○	○	○			○		
新たな技術にチャレンジする「未来志向」の建築技術者の養成	「中規模の木造建築物」の設計施工や、「建築BIM」の活用など、新たな建築技術に精通した「未来志向」の建築士や施工者、行政職員等の養成を図る。		○		○				○	○
減災の視点も採り入れた「命を守る住まい方」の普及	大規模自然災害に備え、「まずは命を守る」という観点から、高齢者等に向けた施策の訴求力を高める工夫も凝らしつつ、ハードだけに限らない住宅対策を推進する。(参考資料3)						○	○		
柔軟かつ重層的な「災害時の住宅セーフティネット」の構築	大規模自然災害に備え、民間ストックも最大限活用しながら、発災時に被災者の安全・安心な住まいを迅速に確保できる「災害時の住宅セーフティネット」の構築を推進する。						○	○		○
公営住宅等ストックの将来像も見据えた「持続可能な住宅セーフティネット」の構築	公営住宅ストックの老朽化が進行する中、民間住宅ストックによる補完も含め、住宅に困窮する方を対象とした「持続可能な住宅セーフティネット」を構築する。			○					○	○
「徳島ならではの住宅・建築文化」の継承	徳島の気候風土に根ざして継承・発展してきた木造住宅や、歴史文化を象徴する近代建築物など、「徳島ならではの住宅・建築文化」の継承に取り組む。	○	○	○	○			○	○	○

## (参考)重点テーマ等の整理にあたっての補足調査(案)

●(×) 特に関係する重点テーマ・目標(案)

## ○ 近年の重要な政策テーマに関する県民の意識調査 (県庁e-モニターアンケートを想定：10問以内)

新型コロナ影響下での意識変化や、グリーン社会への興味に係る意識調査

- ・ 住宅の各要素の重要度、満足度の変化 ②(1) ②(2) ③(1) ③(2)  
→ より重要と思うようになった／より不満を感じるようになった要素について質問
- ・ リフォームへの興味の変化 ①(1) ①(2) ②(1) ②(2)  
→ リフォームの種類(木質化を含む)ごとに興味の変化について質問  
→ 特に「スマート化」については、代表的なメニューごとに興味の有無を質問
- ・ 住宅分野における「温室効果ガス削減」に向けた取組への興味 ②(1) ②(2)  
→ 「省エネルギー化」「木造化」「長寿命化」への興味の程度を質問

- 【参考】・ 内閣府において、「働き方」や「地方移住」についての意識調査を実施(参考資料2) ①(1) ①(2)
- ・ 国土交通省において、「在宅勤務環境」や「住み替え意向」についての意識調査を実施(参考資料4) ①(1)

## ○ 「住まいのレジリエンスの確保」に関する実施体制等の実態調査

市町村をはじめとする「県内の住宅施策の担い手」との連携等を深化させるための実態調査

- ・ 市町村における住生活分野の人員体制、重点施策等の把握 全体
- ・ 県及び市町村が管理する「公営住宅等ストック」の将来見通しの予測 ③(2) ②(1)  
→ 公営住宅等長寿命化計画の分析、民間住宅活用等についてのヒアリング調査 等
- ・ 災害協定を締結している団体等の民間主体における推進体制や特徴的な取組の把握 ③(1)